

平成29年2月14日
三井生命保険株式会社

ソルベンシー・マージン比率および連結ソルベンシー・マージン比率の訂正について

平成28年5月26日付で公表の「平成27年度決算について」、同年8月10日付で公表の「平成28年度第1四半期報告」および同年11月24日付で公表の「平成28年度上半期決算のお知らせ」に記載のソルベンシー・マージン比率および連結ソルベンシー・マージン比率に誤りがあることが判明いたしました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

1. 訂正内容

(1) ソルベンシー・マージン比率の訂正

	誤	正
平成27年度末 (平成28年3月31日)	854.8%	833.6%
平成28年度第1四半期末 (平成28年6月30日)	879.8%	874.1%

(2) 連結ソルベンシー・マージン比率の訂正

	誤	正
平成27年度末 (平成28年3月31日)	851.3%	830.2%
平成28年度第1四半期末 (平成28年6月30日)	876.7%	871.0%

2. 訂正箇所

別紙のとおり。

3. 訂正理由

「資産運用リスク相当額」の算出にあたり、保有する投資信託のリスク量に一部誤りがあったため。

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞ 三井生命保険株式会社 企画部広報グループ 電話：03-6831-8051
--

別紙

【訂正箇所】（訂正箇所の下線を付しています）

○「平成27年度決算について」…35ページ

12. ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位:百万円)

項目	前事業年度末 (平成27年3月31日)	当事業年度末 (平成28年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	837,731	838,741
資本金等	246,138	266,494
価格変動準備金	14,045	16,346
危険準備金	36,143	25,046
一般貸倒引当金	195	146
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	273,443	238,524
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 26,796	△ 23,220
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	131,139	144,602
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	13,535	20,913
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	206,230	196,224
保険リスク相当額 R_1	21,047	20,791
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,288	8,146
予定利率リスク相当額 R_2	66,991	62,284
最低保証リスク相当額 R_7	16,600	11,095
資産運用リスク相当額 R_3	115,916	116,277
経営管理リスク相当額 R_4	4,576	4,371
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	812.4%	854.8%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

< 訂正後 >

(単位:百万円)

項 目	前事業年度末 (平成27年3月31日)	当事業年度末 (平成28年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	837,731	838,741
資本金等	246,138	266,494
価格変動準備金	14,045	16,346
危険準備金	36,143	25,046
一般貸倒引当金	195	146
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	273,443	238,524
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 26,796	△ 23,220
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	131,139	144,602
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	13,535	20,913
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	206,230	201,210
保険リスク相当額 R_1	21,047	20,791
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,288	8,146
予定利率リスク相当額 R_2	66,991	62,284
最低保証リスク相当額 R_7	16,600	11,095
資産運用リスク相当額 R_3	115,916	121,220
経営管理リスク相当額 R_4	4,576	4,470
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	812.4%	833.6%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

○「平成27年度決算について」…39ページ

14. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

<訂正前>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当連結会計年度末 (平成28年3月31日)
総 資 産	7,434,864	7,096,784
ソルベンシー・マージン比率	808.2%	851.3%

<訂正後>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当連結会計年度末 (平成28年3月31日)
総 資 産	7,434,864	7,096,784
ソルベンシー・マージン比率	808.2%	830.2%

○「平成27年度決算について」…63ページ

14. 保険会社及びその子会社等の状況

(9) 保険会社及びその子会社等である保険会社の保険金等の支払能力の充実の状況
(連結ソルベンシー・マージン比率)

<訂正前>

(単位:百万円)

項目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当連結会計年度末 (平成28年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	832,259	833,693
資本金等	247,417	267,752
価格変動準備金	14,045	16,346
危険準備金	36,143	25,046
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	195	146
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	273,443	238,532
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 26,796	△ 23,220
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,982	△ 5,159
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	131,139	144,602
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 882	△ 1,267
その他	13,535	20,913
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2 + R_4 + R_6}$ (B)	205,952	195,843
保険リスク相当額 R_1	21,047	20,791
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,288	8,146
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	66,991	62,284
最低保証リスク相当額 R_7	16,600	11,095
資産運用リスク相当額 R_3	115,640	115,900
経営管理リスク相当額 R_4	4,571	4,364
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	808.2%	851.3%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

<訂正後>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当連結会計年度末 (平成28年3月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	832,259	833,693
資本金等	247,417	267,752
価格変動準備金	14,045	16,346
危険準備金	36,143	25,046
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	195	146
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	273,443	238,532
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 26,796	△ 23,220
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,982	△ 5,159
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	131,139	144,602
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 882	△ 1,267
その他	13,535	20,913
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2 + R_4 + R_6}$ (B)	205,952	200,829
保険リスク相当額 R_1	21,047	20,791
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,288	8,146
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	66,991	62,284
最低保証リスク相当額 R_7	16,600	11,095
資産運用リスク相当額 R_3	115,640	120,842
経営管理リスク相当額 R_4	4,571	4,463
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	808.2%	830.2%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

6. ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位:百万円)

項目	前事業年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成28年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	838,741	845,925
資本金等	266,494	274,433
価格変動準備金	16,346	16,942
危険準備金	25,046	23,493
一般貸倒引当金	146	153
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,524	236,019
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 22,362
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	143,284
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	20,913	24,075
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	196.224	192.283
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,505
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,176
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	61,091
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	10,087
資産運用リスク相当額 R_3	116.277	114.613
経営管理リスク相当額 R_4	4.371	4.289
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	854.8%	879.8%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

<訂正後>

(単位:百万円)

項 目	前事業年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成28年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	838,741	845,925
資本金等	266,494	274,433
価格変動準備金	16,346	16,942
危険準備金	25,046	23,493
一般貸倒引当金	146	153
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,524	236,019
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 22,362
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	143,284
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	20,913	24,075
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	201,210	193,545
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,505
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,176
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	61,091
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	10,087
資産運用リスク相当額 R_3	121,220	115,864
経営管理リスク相当額 R_4	4,470	4,314
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	833.6%	874.1%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

○「平成28年度第1四半期報告」・・・14ページ

8. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

<訂正前>

(単位：百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)
総 資 産	7,096,784	7,196,234
ソルベンシー・マージン比率	851.3%	876.7%

<訂正後>

(単位：百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)
総 資 産	7,096,784	7,196,234
ソルベンシー・マージン比率	830.2%	871.0%

○「平成28年度第1四半期報告」…21ページ

8. 保険会社及びその子会社等の状況

(5) 連結ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	833,693	841,294
資本金等	267,752	275,432
価格変動準備金	16,346	16,942
危険準備金	25,046	23,493
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	146	153
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,532	236,019
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 22,362
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,159	△ 4,449
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	143,284
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 1,267	△ 1,292
その他	20,913	24,075
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1^2 + R_5^2 + R_6 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	195,843	191,903
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,505
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_9	8,146	8,176
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	61,091
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	10,087
資産運用リスク相当額 R_3	115,900	114,236
経営管理リスク相当額 R_4	4,364	4,281
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	851.3%	876.7%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

<訂正後>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成28年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	833,693	841,294
資本金等	267,752	275,432
価格変動準備金	16,346	16,942
危険準備金	25,046	23,493
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	146	153
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,532	236,019
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 22,362
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,159	△ 4,449
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	143,284
負債性資本調達手段等	150,000	150,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 1,267	△ 1,292
その他	20,913	24,075
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_2^2 + R_8 + R_9})^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	200,829	193,165
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,505
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,176
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	61,091
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	10,087
資産運用リスク相当額 R_3	120,842	115,488
経営管理リスク相当額 R_4	4,463	4,306
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	830.2%	871.0%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

○「平成28年度上半期決算のお知らせ」…20ページ

10. ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位:百万円)

項目	前事業年度末 (平成28年3月31日)	当中間会計期間末 (平成28年9月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	838,741	883,460
資本金等	266,494	277,965
価格変動準備金	16,346	17,582
危険準備金	25,046	22,694
一般貸倒引当金	146	150
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,524	235,359
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 20,464
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	144,583
負債性資本調達手段等	150,000	180,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	20,913	25,702
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	196.224	192,185
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,433
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,201
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	59,988
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	9,492
資産運用リスク相当額 R_3	116.277	116,222
経営管理リスク相当額 R_4	4.371	4,286
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	854.8%	919.3%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

<訂正後>

(単位:百万円)

項目	前事業年度末 (平成28年3月31日)	当中間会計期間末 (平成28年9月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	838,741	883,460
資本金等	266,494	277,965
価格変動準備金	16,346	17,582
危険準備金	25,046	22,694
一般貸倒引当金	146	150
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,524	235,359
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 20,464
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	144,583
負債性資本調達手段等	150,000	180,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 113	△ 113
その他	20,913	25,702
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	201,210	192,185
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,433
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,201
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	59,988
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	9,492
資産運用リスク相当額 R_3	121,220	116,222
経営管理リスク相当額 R_4	4,470	4,286
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	833.6%	919.3%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

○「平成28年度上半期決算のお知らせ」・・・22ページ

12. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

<訂正前>

(単位：百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間末 (平成28年9月30日)
総 資 産	7,096,784	7,166,302
ソルベンシー・マージン比率	851.3%	916.9%

<訂正後>

(単位：百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間末 (平成28年9月30日)
総 資 産	7,096,784	7,166,302
ソルベンシー・マージン比率	830.2%	916.9%

○「平成28年度上半期決算のお知らせ」・・・39ページ

12. 保険会社及びその子会社等の状況

(7) 連結ソルベンシー・マージン比率

<訂正前>

(単位:百万円)

項目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間末 (平成28年9月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	833,693	879,541
資本金等	267,752	278,925
価格変動準備金	16,346	17,582
危険準備金	25,046	22,694
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	146	150
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,532	235,359
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 20,464
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,159	△ 3,739
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	144,583
負債性資本調達手段等	150,000	180,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 1,267	△ 1,252
その他	20,913	25,702
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1^2 + R_5^2 + R_6 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$ (B)	195,843	191,843
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,433
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_9	8,146	8,201
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	59,988
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	9,492
資産運用リスク相当額 R_3	115,900	115,883
経営管理リスク相当額 R_4	4,364	4,279
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	851.3%	916.9%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

<訂正後>

(単位:百万円)

項 目	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)	当中間連結会計期間末 (平成28年9月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	833,693	879,541
資本金等	267,752	278,925
価格変動準備金	16,346	17,582
危険準備金	25,046	22,694
異常危険準備金	—	—
一般貸倒引当金	146	150
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	238,532	235,359
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 23,220	△ 20,464
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 5,159	△ 3,739
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	144,602	144,583
負債性資本調達手段等	150,000	180,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	△ 1,267	△ 1,252
その他	20,913	25,702
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1^2 + R_5^2 + R_6 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_8$ (B)	200,829	191,843
保険リスク相当額 R_1	20,791	20,433
一般保険リスク相当額 R_5	—	—
巨大災害リスク相当額 R_6	—	—
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	8,146	8,201
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	62,284	59,988
最低保証リスク相当額 R_7	11,095	9,492
資産運用リスク相当額 R_3	120,842	115,883
経営管理リスク相当額 R_4	4,463	4,279
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	830.2%	916.9%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
2. 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式を用いて算出しています。

以 上